

# 平成24年度当初予算 予算要求シート

整理番号	19 - 051	マスタープラン 3つの挑戦	-	マスタープラン 施策番号	1 - 6	局・課名	建設局・道路計画課
区分	その他一般施策						(単位 千円)

<b>事業名</b>	交通事故統合データベースマッチング業務(政令市)				平成22年度決算額	平成23年度予算額	平成24年度要求額
<b>事業費</b>					3,129	6,000	8,000
<b>事業期間</b>				H ~ H	全体事業費		
<b>関連事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本整備重点計画</li> <li>・道路交通センサス</li> <li>・大阪府交通安全実施計画</li> <li>・特定交通安全施設等整備事業の実施計画</li> <li>・第9次大阪府交通安全計画</li> </ul>						
<b>事業目的</b>	<p>本事業は、道路交通センサスデータと事故データを統合したデータベースを作成し、これに基づき対策箇所の抽出・対策立案・対策の効果評価等を行うことにより、効果的かつ効率的に交通安全事業を進めることを目的とする。</p>			<b>今年度要求のポイント</b>			
				<p>例年実施している事業(マッチングデータ作成等)に加え、下記内容を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチングデータの基礎データである道路交通センサスデータを平成17年度データから最新の平成22年度データに更新する。</li> <li>・通学路における事故データの整理(カルテの更新)と対策実施済み箇所における効果評価を行う。(H21~H23年データ使用)</li> </ul>			
<b>事業内容</b>	<p>道路管理者の保有する道路交通センサスデータと警察の保有する交通事故データをマッチングし、交通事故統合データベース(マッチングデータ)を作成する。作成したデータベースを利用し、ピンマップ図(事故発生状況を図示したもの)の作成や事故危険箇所における事故データの整理、あんしん歩行エリアにおける事故データの整理を行い、事故危険箇所やあんしん歩行エリアにおける対策の効果評価を行う。</p> <p>またマッチングデータ作成の基礎データである道路交通センサスデータを平成17年度データから平成22年度データに更新する必要がある。</p> <p>さらに通学路における交通安全対策事業を進めるため、通学路に関する事故データを整理し、対策実施済み箇所における効果評価を行う。</p>			<b>主な要求内容</b> (単位: 千円)			
				項目	23年度予算	24年度要求額	内容・積算等
				委託料等	6,000	8,000	マッチングデータ作成等 (H22年度センサスデータに更新)
							事故危険箇所データ整理等
							あんしん歩行エリアデータ整理等
							通学路における事故データの整理等
				その他			
				合計	6,000	8,000	
<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>					<b>その他 特記事項</b>		
<b>【経過(～23年度)】</b>		<b>【24年度】</b>		<b>【今後(25年度～)】</b>			
20年度 事故危険箇所等の箇所選定 21年度 事故危険箇所等の対策メニュー決定 22・23年度 事故危険箇所等の対策実施及び効果評価		事故危険箇所等の対策実施、効果評価及び5カ年のまとめ		次期社会資本整備重点計画(H25～H29)に基づき、引き続き対策を実施する予定。			